



第2回 天草市 学校や地域の図書館を使った調べる学習コンクール開催！作品募集



昨年度から天草市立図書館では、公益財団法人図書館振興財団が開催している、「図書館を使った調べる学習コンクール」の地域コンクール版を開催しています。テーマは自由で、身近な疑問や不思議に思うこと、興味があることなどを、見る・聞くなどの体験や、実地調査なども取り入れて、調べたものをまとめて作品を作ってください。たくさんのご応募お待ちしております！

【募集について】

【期間】9月1日（火）～9月30日（水）
【対象】小学生・中学生（市内在住・在学）
【部門】小学生の部・中学生の部
【募集作品】学校図書館や公共図書館（電子図書館含む）を使って調べ、まとめた作品



詳しくはこちら↑

中央図書館

姉妹都市「エンシニータス市」展示を行います



前回の展示の様子

天草市の姉妹都市であるエンシニータス市（アメリカ・カリフォルニア州）の生徒たちが、今年も天草市に滞在予定です。それに合わせて中央図書館では7月中旬頃から、関連する資料やこれまでの交流が分かる写真などを展示します。資料を通して、つながりのある土地の風土や文化などを感じてみませんか。

牛深図書館

6月16日、生活科「まち探検」の学習で、牛深小学校2年生42名、先生3名が牛深図書館に来てくれました。図書館の利用案内のあとは、「図書館の本は何冊ですか、図書館に来る人は何人いますか、どんな本がありますか」などさまざまに質問がありました。

移動図書館では毎月1回貸出を行っていますが、牛深図書館に来るのは初めての生徒さんも多く、絵本や児童書、セルフ貸出機に興味津々にぎわいました。



御所浦図書館

7月になり、梅雨入りして一か月余りがたちました。『雨』 日本語には季節や降りかた、時間帯によって400種類以上の雨の呼び名が存在するようです。表現にも雨という単なる現象と捉えずに情緒ある風景として愛でる文化がありますし、そこに込められた情感・心情も伝える力があり**素敵だと思えます**。『翠雨（すいう）』という言葉を知りました。青葉若葉に降り注ぐ緑が美しく映える雨、恵みをもたらす優しい雨という意味だそうです。キラキラ輝く情景が浮かびますね。

雨の音をBGMに静かな図書館で本の世界を心地よくゆっくり過ごす、癒しと気分転換になりそうです。

特集している「雨えほん」は梅雨が明けるまでロビーにて展示しています。



河浦図書館



早いもので今年ももう半分過ぎてしまいました。しばらく前まで図書館内はアジサイやカタツムリなど、梅雨らしい掲示物で彩られていましたが、もう七夕掲示も終え、夏の平和学習コーナーに様変わりして、時の流れ・季節の移ろいの速さを感じます。皆様が「夏」を感じられるのは、どんな時ですか。スイカ、かき氷、冷やし中華…思いつくものをあげたら食べ物ばかりになりました。夏の風物詩だった花火大会も最近は突然の雷雨や猛暑の影響で秋や冬に開催される所が増え、日本の四季は二季になると聞きました。そうならないことを祈ります。

図書館HP



移動図書館
日程



電子図書館
HP



新着図書
(表紙つき)

